

コーデック・多重化システム

松室昌宏*
丹野興一**
柴田邦夫**

要 旨

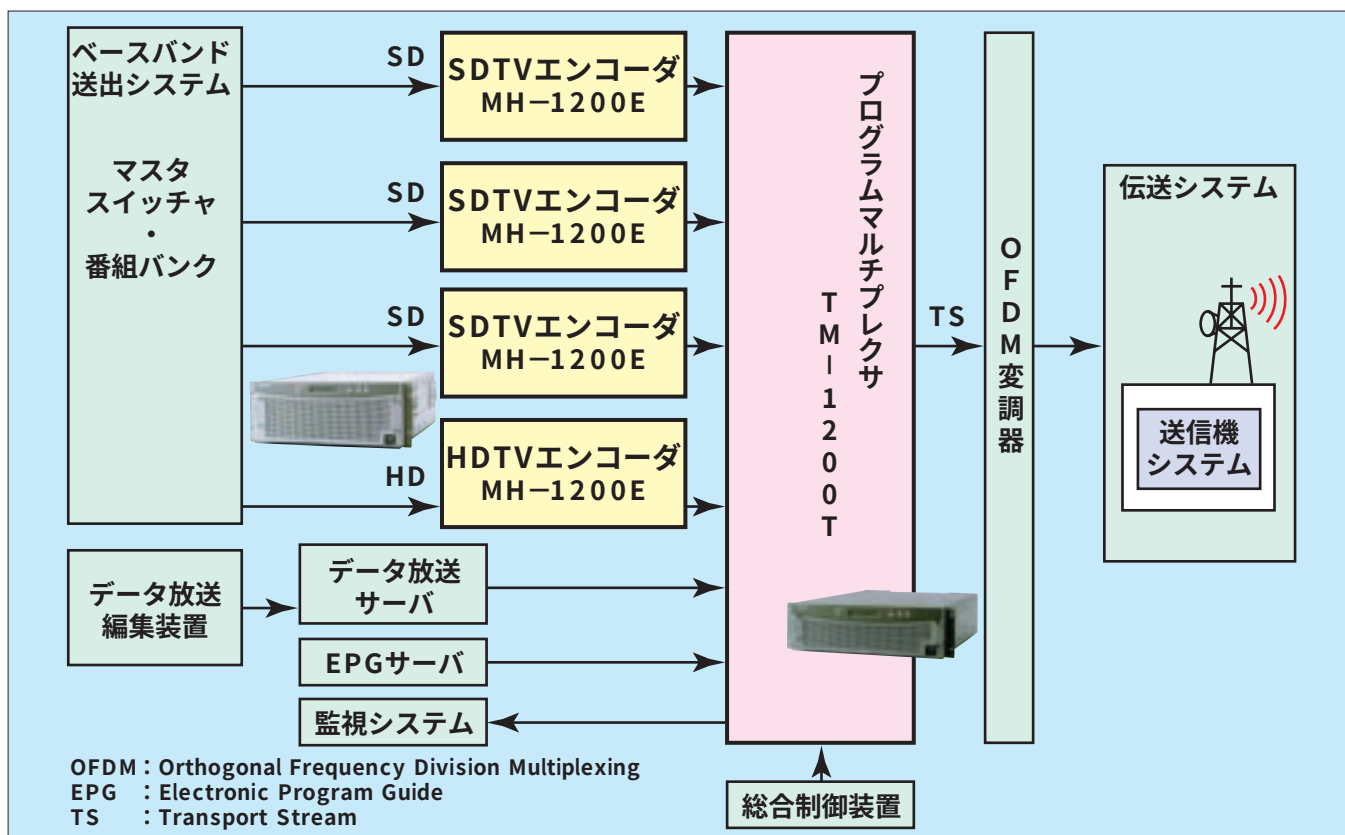
通信・放送システムのデジタル化進展に伴い、デジタル放送関連機器の実用化、特にMPEG標準を採用したコーデックの市場が急速に立ち上がっている。BS放送、地上波放送、ケーブルTVのデジタル化の中で、放送サービスの品質に大きく影響を与えるデジタル放送用コーデック・多重化システムの役割が重要となっている。

今回、米国や日本のほか、各国における映像素材の配信、地上波放送、衛星放送、ケーブルTVなど、放送局業務への適用をねらい、マルチフォーマットエンコーダ“MH-1200E”、プログラムマルチプレクサ“TM-1200T”を開発

した。

MH-1200Eは、HDTV／SDTVをサポートし、高画質化とともに大幅な小型化を実現した。TM-1200Tは、データ放送や圧縮ストリームの再多重を始め、伝送形態に対応した多様な多重パターンをサポートする。

これらの装置を組み合わせることにより、国内外デジタル放送における放送局内や局間配信など種々のアプリケーションに対し、大規模なキー局から小規模ローカル局まで様々なシステムを構成することが可能である。



コーデック・多重化システムの構成

デジタル放送システムでは、ビデオエンコーダとプログラムマルチプレクサは重要な構成要素となる。エンコーダの映像圧縮性能及び各種メディアを多重するマルチプレクサのフレキシビリティが、提供するサービスの品質を大きく左右する。